

統計調査ニュース

平成22年（2010）11月

No.288



国勢調査の実査，そして審査へ

総務省統計局統計調査部長 丹下 甲一

10月1日を期して実施された国勢調査は、現在、市町村において、世帯や調査員から提出された調査書類の審査を行っている段階かと思えます。これまで円滑に調査を行うことができたのは、ひとえに国勢調査に携わっていただいた全国80万人にも及ぶ調査員・指導員の方々、そして地方公共団体の職員の皆様の誠実な取組のお陰と、改めて心より御礼申し上げます。

現在、地方公共団体において審査中の調査票は、今後、（独）統計センターへの提出後、最終的な審査及び集計が行われ、来年2月に速報として公表される運びとなります。今回の調査では、国民生活・意識の変化に対応して、調査方法などについて新たな取組を行っていることから、審査業務は、調査結果の精度の確保のために従来にも増して重要な役割を担うものです。審査業務につきましても、実査と同様、緻密な取組を

いただきますようよろしくお願いいたします。

今回の調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって初めてのものであることから、国レベルだけでなく、地域レベルでも高い精度の確保が重要となります。このため、審査段階において、回答の記入内容を確認するのに加えて、居住を確認できた場合に限り、必要な行政資料の活用や関係者への質問による調査票の補記を行うこととしています。また、調査票上では十分に把握できなかった調査項目について、氏名、男女の別、世帯員の数に限り、市町村長が、マンション管理会社などに対して、統計法に基づき質問ができることとなりました。

なお、国勢調査で得られる情報は、今年の夏の新聞やテレビなどで大きく報道された「消えた高齢者」問題の解決にも一役買うこととなります。すなわち、この問題

解決に向け、関係部局は可能な限り協力すべきとの政府方針の下、統計局でも、調査票自体の活用は難しいものの、市町村の住民基本台帳担当の部署に対し、調査区関係資料を適切な手続の下で、閲覧することができる仕組みを設けましたので、これらの部署からの要請があれば適切に対応されることを期待しています。

国勢調査の高い結果精度を確保する様々な取組は、これを利用する各種の行政、地方公共団体、そして国民の方々に還元し、それぞれ最大限活かしていただくためのものですので、引き続き審査の完了に向けて御尽力をお願いいたします。あわせて、これまでの実地調査や審査で気付かれた事柄を記録していただき、これらを踏まえながら、次回以降の調査方法などの改善に向けて御意見・御提案を頂ければ幸いです。

目次

国勢調査の実査，そして審査へ	1	「平成22年秋の叙勲」	5
平成22年国勢調査の実施報告（その2）	2	第58回統計グラフ全国コンクール入選作品決定	6
－「二十世紀の新作落語を聴く会」について－	3	統計データ・グラフフェアの開催について	8
平成21年全国消費実態調査 単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果の概要	4	都道府県発とうけい通信 ^㉔	9

平成 22 年国勢調査の実施報告（その2）

国勢調査の実施期日の10月1日に、菅内閣総理大臣から担当調査員へ調査票が提出され、片山総務大臣も忙しい公務の合間を縫って、都内施設の調査状況を視察されました。

また、先月の大阪に続き、東京で行われた「二十世紀の新作落語を聴く会」について紹介します。

菅内閣総理大臣も調査票を提出されました！

国勢調査の調査期日である10月1日（金）早朝、総理公邸の玄関前で、菅内閣総理大臣が国勢調査員に調査票を提出されました。菅内閣総理大臣は、調査票を提出されながら、国勢調査員の方に、「御苦労様です。きちっと書きましたよ。これから調査票を集めに回られるのですよね。大変でしょうが頑張ってください。」と声を掛けられ、激励されました。

菅内閣総理大臣から調査票を受け取った国勢調査員の方は、「緊張しましたが、きちっと書いてくださったということで安心しました。ねぎらいのお言葉を頂いて光栄です。」と話されていました。



片山総務大臣が施設での調査状況を視察されました！

片山総務大臣（国勢調査実施本部長）は、10月1日午前、東京都千代田区にある「いきいきプラザ一番町」（千代田区立一番町特別養護老人ホーム）において調査状況を視察されました。

まず、今井施設長から、「いきいきプラザ一番町」の施設概要について説明を受けた後、入居者の方々を訪問し、国勢調査員に調査票を提出する状況を視察されました。

片山総務大臣は提出された方に「調査票の記入はどうでしたか？」「簡単でしたか？」などと気さくに声を掛け、最後に「提出ありがとうございました。」と御礼を述べられました。

入居者の方々は、緊張された様子もうかがわれましたが、「総務大臣が優しくそうな方で良かったです。」「5年後も元気で国勢調査に記入します。」とお話されていました。



「二十世紀の新作落語を聴く会」について

10月17日(日)、東京・浜松町にある文化放送のメディアプラスホールにおいて、「二十世紀の新作落語を聴く会」が開催され、1か月前の大阪に続き、桂小春團治師匠による落語『国勢調査』も披露されました。

この落語『国勢調査』は、昭和5年に初代の桂小春團治師匠が作り、サンデー毎日に発表したものを、当代(三代目)の桂小春團治師匠が、可能な限り初代の作品を忠実に再現しながらも現代風にアレンジしたものです。

今回は、国勢調査落語リメイクのきっかけになった「サンデー毎日」を寄贈して下さった、佐藤氏にも御覧いただきました。御子息とおみえになった佐藤氏もとてもお喜びになり、また、桂小春團治師匠も「よくこの雑誌を見付けて下さいました。初代の奥様も初代桂小春團治の落語がよみがえると喜んでおられます。」とお話しになり、国勢調査が多くの人を笑顔にしてくれました。



桂小春團治師匠

二十世紀の新作落語
を聴く会
演目
「初代桂小春團治依
」国勢調査」
桂小春團治
平成二十二年十月十七日 日曜日
於 浜松町メディアプラスホール
(文化放送内)

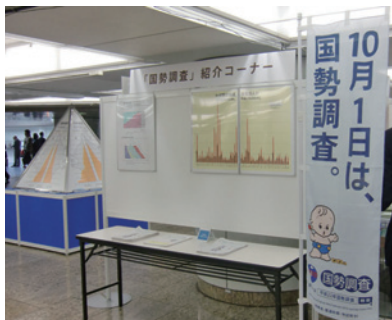
演目



満員の会場

調査票提出の最後のお願いをしました。

10月23日(土)、24日(日)に開催された「統計データ・グラフフェア」(詳細については、8ページ参照)において、調査票提出の最後のお願いをしました。



「平成22年国勢調査事後調査」を実施します。

「平成22年国勢調査事後調査」を11月21日(日)午前零時現在で実施します。

この事後調査は、本年10月1日に行われた国勢調査の調査状況を把握し、今後の国勢調査の企画の参考とするために実施するものです。

平成 21 年全国消費実態調査

単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果の概要

全国消費実態調査は、国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的として、昭和34年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、平成21年調査は、その11回目にあたります。本年7月の主要耐久消費財に関する結果の公表に続き、9月に単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果を公表しましたので、その概要を紹介します。

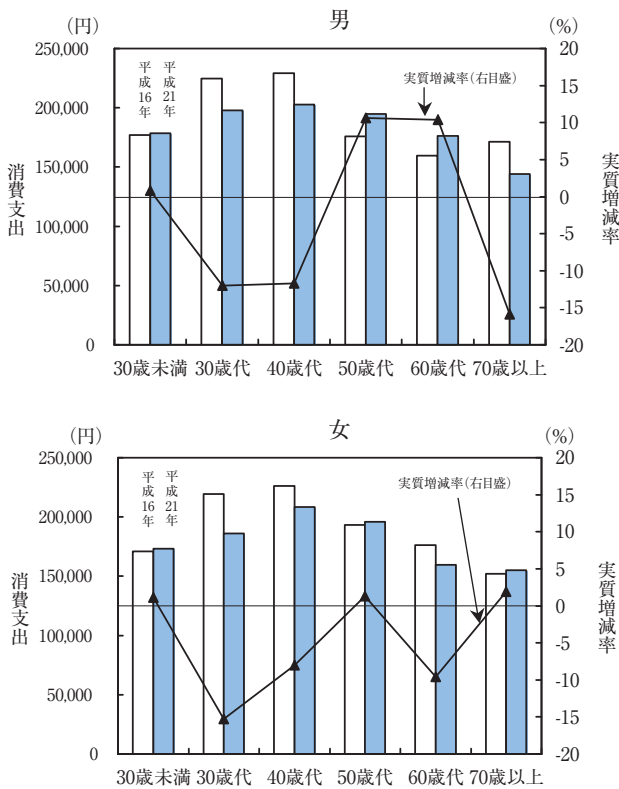
単身世帯の消費支出の概況

単身世帯の平成21年10月、11月の1か月平均消費支出は174,349円で、これを男女別にみると、男性は181,746円、女性は167,845円となっています。

年齢階級別にみると、男女共に40歳代までは年齢階級が高くなるに従って消費支出は多くなっていますが、40歳代をピークにそれ以降は年齢階級が高くなるに従って少なくなっています。

また、年齢階級別消費支出を平成16年と比較すると、消費者物価の変動を除いた実質は、30歳未満及び50歳代の男女、60歳代の男性並びに70歳以上の女性で増加となっています。(図1)

図1 男女、年齢階級別1か月平均消費支出及び実質増減率(単身世帯)



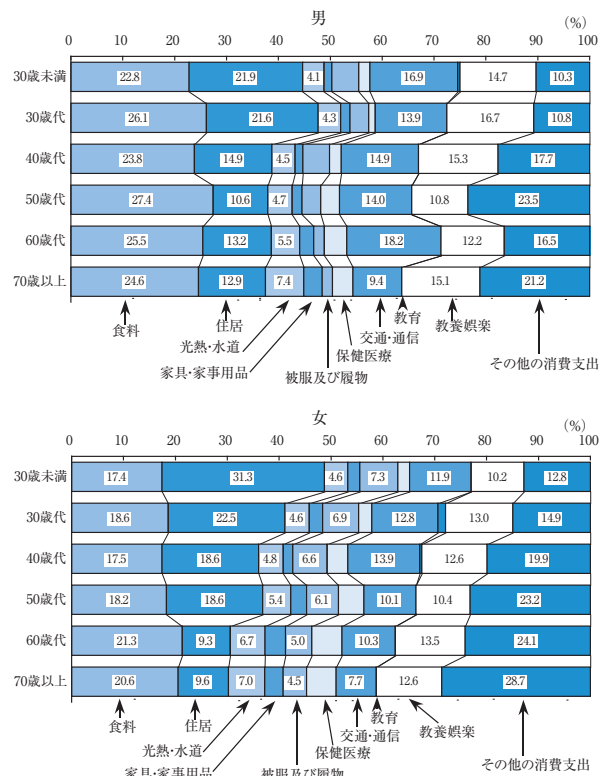
費目別支出の状況

単身世帯の消費支出に占める費目別割合を男女、年齢階級別にみると、男性はすべての年齢階級で食料の割合が約4分の1を占めて最も高くなっています。女性は30

歳未満及び30歳代では住居の割合が、40歳以上では交際費などの「その他の消費支出」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

男女を比較すると、食料及び交通・通信の割合はすべての年齢階級で男性が女性を上回っています。これに対し、被服及び履物などの割合はすべての年齢階級で女性が男性を上回っています。(図2)

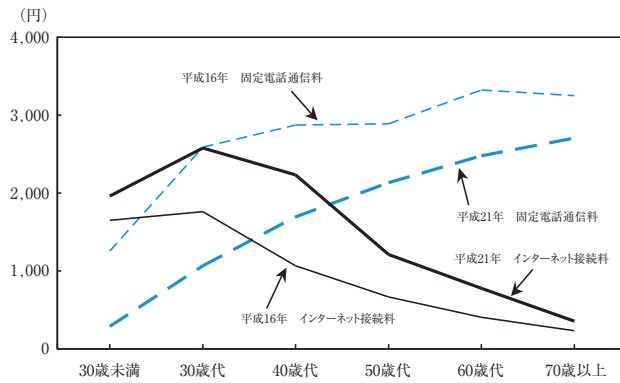
図2 男女、年齢階級別1か月平均消費支出の費目構成(単身世帯)



インターネット接続料及び固定電話通信料の状況

単身世帯の品目別支出のうち、インターネット接続料及び固定電話通信料について年齢階級別に支出金額をみると、インターネット接続料は30歳代が2,576円と最も多く、それ以降は年齢階級が高くなるに従って少なくなっています。一方、固定電話通信料は年齢階級が高くなるに従って多くなり、70歳以上が2,704円と最も多くなっています。また、インターネット接続料と固定電話通信料を比較すると、50歳未満の各年齢階級ではインターネット接続料が固定電話通信料を上回っています。(図3)

図3 年齢階級別インターネット接続料及び
固定電話通信料の支出金額(単身世帯)

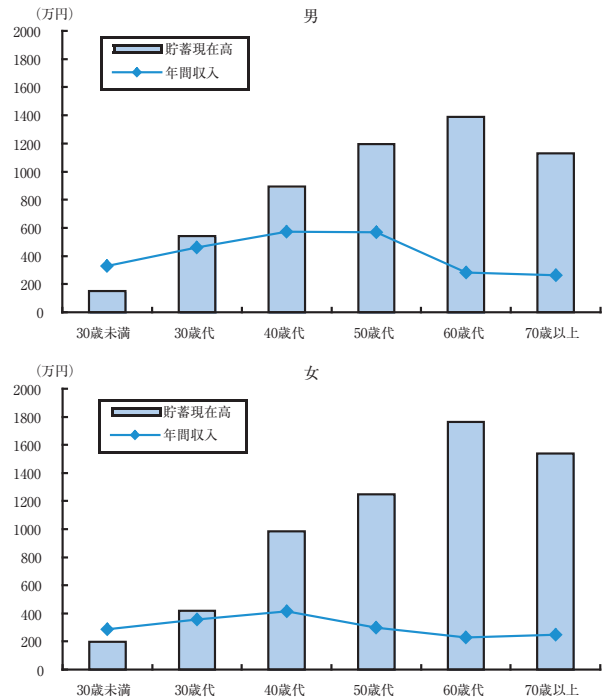


単身世帯の貯蓄の状況

単身世帯の貯蓄現在高について、男女、年齢階級別にみると、60歳代までは年齢階級が高くなるに従って多くなる傾向がみられ、男性は30歳未満が151万円と最も少なく、60歳代が1387万円と最も多くなっています。また、女性も30歳未満が198万円と最も少なく、60歳代が1763万円と最も多くなっています。

貯蓄現在高と年間収入を比較すると、30歳未満では男女共に貯蓄現在高が年間収入を下回っています。一方、30歳以上では男女共に貯蓄現在高が年間収入を上回っています。(図4)

図4 男女、年齢階級別貯蓄現在高及び年間収入(単身世帯)



【今後の公表予定】

- 平成22年12月 二人以上の世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果
- 平成23年3月 家計資産に関する結果
- 平成23年10月 各種係数及び所得分布に関する結果

「平成22年秋の叙勲」

政府は、11月3日の文化の日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省では、11月9日にグランドプリンスホテル赤坂において伝達式を行い、総務大臣から受章者に勲章が伝達されました。また、受章者は伝達式後、皇居において天皇陛下に拝謁しました。

統計局関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある受章にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】

○旭日双光章

白鳥 富雄 (北海道)

○瑞宝単光章

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 沼田 光博 (北海道) | 阿部 貞徳 (宮城県) | 秋元 英雄 (千葉県) | 小林 小夜子 (岐阜県) |
| 市場 正 (北海道) | 木村 正三郎 (秋田県) | 大頭 好治 (千葉県) | 水谷 れい子 (静岡県) |
| 岩本 良二 (北海道) | 若生 榮 (山形県) | 吉田 徳嗣 (千葉県) | 伊藤 初子 (愛知県) |
| 猪子 敏夫 (北海道) | 中塚 喜一 (福島県) | 佐久間 丈夫 (千葉県) | 川瀬 文子 (愛知県) |
| 藤本 房雄 (北海道) | 半澤 忠 (福島県) | 安藤 武雄 (東京都) | 中西 庸子 (滋賀県) |
| 岡本 清 (北海道) | 櫻井 磐雄 (茨城県) | 下西ノ園 道雄 (東京都) | 原田 政夫 (大阪府) |
| 奈良 昭一郎 (北海道) | 藪部 勝一 (茨城県) | 平林 京子 (東京都) | 大川 雅子 (大阪府) |
| 佐々木 惣市 (北海道) | 外之内 榮 (茨城県) | 小松 直子 (東京都) | 藤原 利子 (鳥取県) |
| 長南 一男 (北海道) | 高野 功 (茨城県) | 二見 昌一 (神奈川県) | 荒木 昭恵 (島根県) |
| 北澤 清次 (北海道) | 濱内 申次 (茨城県) | 油座 栄子 (神奈川県) | 藤井 和芳 (岡山県) |
| 岡村 孝男 (北海道) | 山崎 一雄 (栃木県) | 掛川 啓 (神奈川県) | 鹿島 義昭 (広島県) |
| 山崎 寅雄 (青森県) | 塩野 信敏 (群馬県) | 小池 二三男 (新潟県) | 田村 松代 (広島県) |
| 石亀 正一 (岩手県) | 高橋 房子 (埼玉県) | 阿部 俊彦 (新潟県) | 川西 チヅ子 (徳島県) |
| 古舘 金重郎 (岩手県) | 岡田 榮子 (埼玉県) | 田村 重治 (富山県) | 小西 美津香 (香川県) |
| 菅原 藤一 (宮城県) | 田所 喜美子 (千葉県) | 佐々木 幸一 (福井県) | 奥村 敏子 (福岡県) |
| 竹村 富五郎 (宮城県) | 飯塚 義雄 (千葉県) | 河西 友三 (長野県) | |

※敬称略

第 58 回統計グラフ全国コンクール入選作品決定

総務大臣特別賞は、岐阜県大垣市立宇留生小学校6年 櫻木 美咲さんの作品 便利な自転車 安全に乗ろう

【統計グラフ全国コンクール】

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されています。また、(財)統計情報研究開発センターが主催し、総務省、文部科学省等の関係機関の後援及び協賛により、10月18日の「統計の日」の主要な関連行事として実施されています。

【第 58 回 (平成 22 年度) の審査経過】

今年も、6部門に、全国の小・中学生から一般の方々まで、26,409作品に及ぶ多くの応募があり、各都道府県の統計グラフコンクールを兼ねた第1次審査、総務省政策統括官室及び統計局並びに独立行政法人統計センターの職員による第2次審査の後、統計グラフ全国コンクール最終審査会(審査委員長:渡辺美智子東洋大学経済学部教授)において最終審査が行われ、各部ごとに特選作品(各部1作品)及び入選作品を決定しました。

さらに、特選6作品の中から、特に優秀と認められる作品に対して、「総務大臣特別賞」と「文部科学大臣奨励賞」(各1作品)が贈られることとなっています。

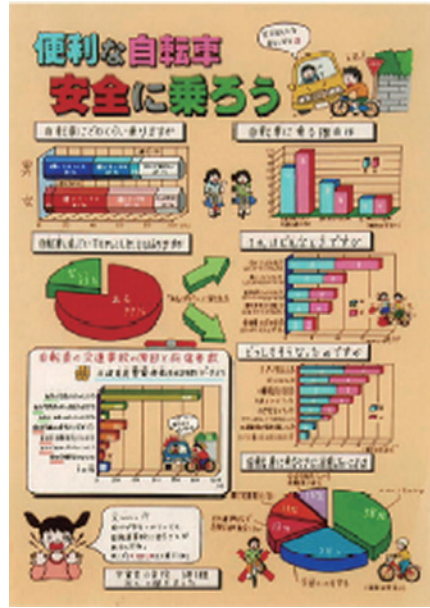
【表彰式等】

「総務大臣特別賞」を含む各部の特選受賞者に対する表彰は、平成23年2月2日(水)に東京都千代田区の「九段会館大ホール」で開催される全国統計大会において、また、入選受賞者に対する表彰は、各都道府県で開催される地方統計大会、統計功労者表彰式等においてそれぞれ行われます。

特選・入選作品は、全国統計大会の開催会場で展示されるほか、平成22年10月23日(土)～24日(日)の2日間、東京都新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」で開催した「統計データ・グラフフェア」の会場でも展示されました。

【総務大臣特別賞】

岐阜県大垣市立宇留生小学校6年 櫻木 美咲(さくらぎ みさき)さん〔第3部(小学校5年生及び6年生の児童)特選作品から選出〕



【総務大臣特別賞】

【文部科学大臣奨励賞】

茨城県古河市立古河第一小学校2年 城下 友香(しろした ゆうか)さん〔第1部(小学校1年生及び2年生の児童)特選作品から選出〕



【文部科学大臣奨励賞】

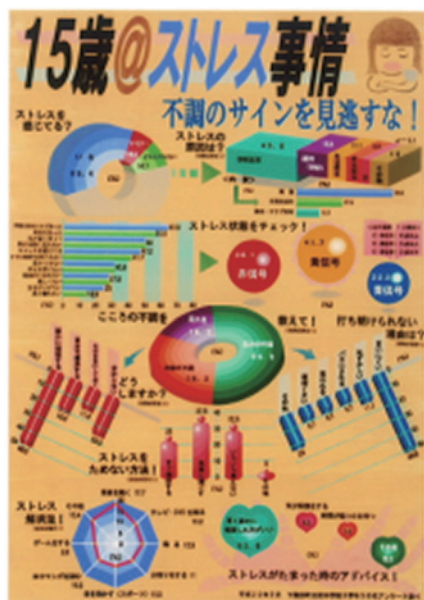
【各部の特選作品】

その他の特選作品は、第2部(小学校3年生及び4年生の児童)が、岐阜県大垣市立安井小学校3年 唐田 弦人(からた げんと)さんの作品「ドクターにギモン・質問-ぼくお医者さんになりたい-」です。



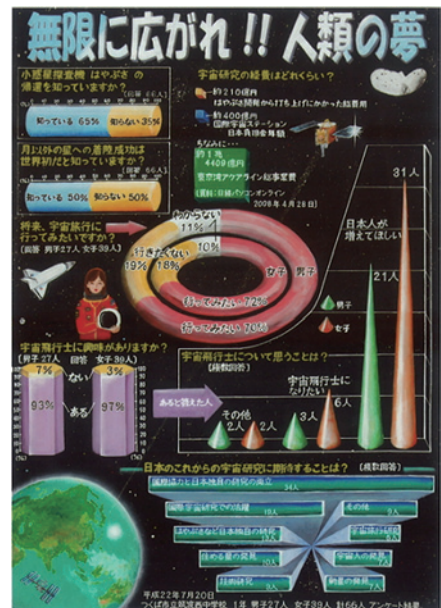
【第2部特選】

第4部(中学校の生徒)の特選作品は、長野県下諏訪町立下諏訪社中学校3年 浜 遥季(はま はるき)さんの作品、「15歳@ストレス事情 不調のサインを見逃すな!」です。



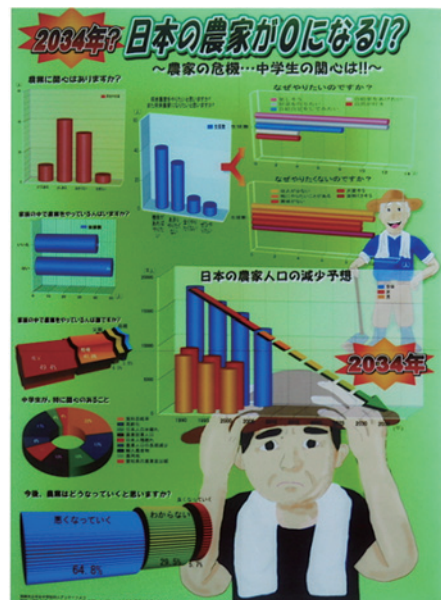
【第4部特選】

第5部(高等学校以上の生徒・学生及び一般)の特選作品は、茨城県土浦日本大学高等学校1年 玉井 綾乃(たまい あやの)さんの作品、「無限に広がれ!! 人類の夢」です。



【第5部特選】

パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)の特選作品は、愛知県岡崎市立河合中学校3年 蒲野 千晶(がまの ちあき)さん、長坂 奈南(ながさか ななみ)さんの作品、「2034年? 日本の農家が0になる!? ~農家の危機...中学生の関心は!!~」です。



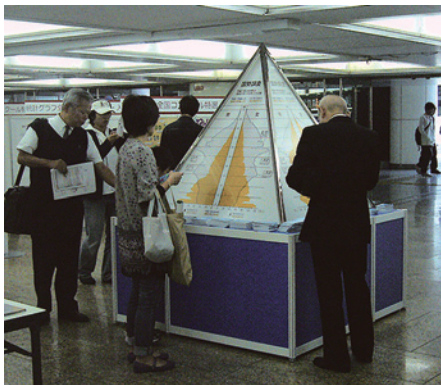
【パソコン統計グラフ】

統計データ・グラフフェアの開催について

10月23日(土)～24日(日)、総務省政策統括官室では、新宿駅西口広場イベントコーナー(東京都新宿区)において、「統計データ・グラフフェア」を開催しました。

本フェアの開催は今年で9回目となり、統計の普及・啓発を図るため、昭和48年7月3日の閣議了解で定められた「統計の日」(10月18日)の関連行事の一つとして開催しています。

新宿駅西口広場イベントコーナーは、新宿駅西口地下広場の一角にあるオープン形式のイベント会場で、会場内は自由に通行できる



ため、通り掛かりの方も足を止めて人口ピラミッドや展示パネル、各種統計資料などを熱心に見ていました。

家族連れの来場者も多く見られ、国勢調査のイメージキャラクターである「センサスくん」が登場すると子供たちから握手を求められたり、一緒に写真を撮ったりする光景が見られました。

また、展示コーナーを回りながら回答するラークイズにも多くの方に参加いただきました。



統計グラフ全国コンクールや東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

の統計グラフコンクールの入選作品を展示しているコーナーでは、入選作品を作成した子供たちが御家族と作品の出来栄について話したり、作品の横に立って記念写真を撮ったりする光景が見られました。



本フェアは、総務省、東京都及び(財)統計情報研究開発センターの共催ですが、内閣府、公正取引委員会、法務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省及び国際連合広報センターから、閲覧用の各種統計書の貸出し、展示・配布資料の提供など多大な御協力を頂きました。

【統計法、基本計画及び統計の二次利用】紹介コーナー

昨年4月に全面施行された新しい統計法や基本計画のほか、統計の二次利用の推進に向けた政府の取組を紹介しました。

【東京都の企画展示コーナー】

今年は、「国勢調査で何がわかるかな?」として、大正9年と平成17年の国勢調査の結果を比較する内容で、統計を通して、東京の移り変わりを分かりやすく解説するものでした。

【「世界統計の日」紹介コーナー】

今年6月に国連が初めて定めた「世界統計の日」(2010年10月20日)や国際比較データを紹介するとともに、国連や各国のポスターを展示しました。



【統計で遊ぼうコーナー】

身近に統計が学べる統計学習サイトの「なるほど統計学園」や、統計データをクイズにした「タイムスリップショッピング」、「データDEタイプ診断!」を、子供から大人まで気軽にマウスをクリックしながら取り組んでいる姿が見られました。



総務省政策統括官室では、これからも国民の皆様に対して統計に対する関心と理解を深めていただくための取組を行ってまいります。統計関係者を始めとする方々のより一層の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

都道府県発とうけい通信②④

どこさ ひごさ くまもとさ

熊本県企画振興部統計調査課

○九州新幹線の全線開業(平成23年3月)

来年3月12日には、九州新幹線の新八代-博多間が全線開業し、新大阪~熊本間を約3時間で結ぶこととなります。



九州新幹線みずほ・さくら

平成24年4月には熊本市の政令指定都市移行も予定されており、今熊本では、熊本城本丸御殿の再建や宇土櫓の改修など、着々と開業に向けた準備が進んでいます。平成20年には、「本丸御殿」の一般公開に伴い、全国から203万人の方が来城し、国内の城郭で1位の入場者数になりました(平成20年熊本県観光統計)。

○産業連関表の分析ツール

熊本を訪ねる観光客も増え、その経済波及効果について問い合わせが増えました。そこで、当課の情報解析班では観光客数や消費額を基に37部門の与件データを算出できる分析ツールを開発し、産業連関表を用いて経済波及効果を算定できるようにしたところです。

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/kumamotoio.html>

○くまもとサプライズ

本県では「くまもとサプライズ」をスローガンに九州新幹線全線開業に向けた取組を進めており、下はそのロゴとキャラクター「くまモン」です。国勢調査の広報では、出張中のセンサスくんに代わって、「くまモン」が随分活躍してくれました。

熊本はよかとこばい(良い所です)
いっぺん(一度)新幹線で
きてみなっせ!(来てください)

くまもと
サプライズ



くまモン

○熊本は名水の宝庫

熊本は、阿蘇に代表される自然豊かな水源かん養域が広がり、昭和、平成の名水百選に全国最多の8か所が選ばれるなど、全国有数の豊かな地下水や湧水の恩恵を受けています。



水前寺成趣園「古今伝授之間」

湧水といえば、熊本市に阿蘇の伏流水が自噴する水前寺成趣園があり、今年10月には「古今伝授之間」が改修されました。「古今伝授之間」は、細川藤孝(幽斎)公が後陽成天皇の弟智仁親王に古今和歌集の奥義を伝えた場所です。元々京都御所内にあったものがいろいろな経緯を経て、大正元年に現在地に移築したものです。襖の引き手には十六花卉の菊の御紋、唐紙には五七の桐紋があり、皇室との縁をかい間見ることができます。

○熊本の食べ物ほうまかぁ~(おいしい)

次に熊本の物産を統計から見てもみましょう。

熊本発の果物で生産量全国第1位(平成19年特産果樹生産動態等調査:農林水産省)を誇るのはデコポンです。また、全国シェア1位(平成20年作物統計:農林水産省)のトマト(86.6千t)やすいか(60.1千t)、中でも八代地域の塩トマトや植木のすいかが有名です。

○世界へはばたく熊本!

熊本は東アジアの国々と近く、その位置も九州の真ん中にあります。

県の姉妹提携先である広西壮族自治区の区都で、中国とASEAN諸国との貿易経済交流の中心都市である南寧市には、文化及び物産の発信地として「日本園」が10月にオープンしました。県ではこの日本園に観光や物産等の情報を発信する「広西・くまもとプラザ」を開設し、アジアから世界への交流拡大を目指しています。

旅行の節は、東アジアでも熊本の味を御賞味ください。

熊本県ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/>

熊本のデータ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>

スザンヌ宣伝部長 <http://www.daisuki-kumamoto.com/>

最近の数字

		人口		労働・賃金			産 業		家 計(二人以上の世帯)		物 価		国内企業物価指数 H17=100
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季調済)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季調済)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数			
		千人(Pは万人)	万人	%	円	H17=100	兆円	円	円	全 国 H17=100	東京都区部 H17=100		
実数	H22. 5	127413	6295	5.2	298,267	96.1	22.6	280,714	320,542	99.7	99.1	103.3	
	6	P12738	6280	5.3	530,947	95.0	P23.4	276,494	599,669	99.7	99.1	102.8	
	7	P12742	6271	5.2	415,675	94.8	P23.7	285,274	463,447	99.2	98.5	102.8	
	8	P12739	6278	5.1	301,710	94.3	P23.2	293,361	388,478	99.5	98.9	102.8	
	9	P12736	6309	5.0	P297,577	P92.5	...	275,367	352,244	99.8	99.2	P102.8	
	10	P12738	P99.7	...	
前年同月比	H22. 5	-	-0.7	* 0.1	0.5	* 0.1	-2.3	-0.7	-5.3	-0.9	-1.4	0.5	
	6	-	-0.3	* 0.1	3.4	* -1.1	P-3.1	0.5	7.4	-0.7	-1.0	0.4	
	7	-	0.0	* -0.1	2.4	* -0.2	P-4.1	1.1	-0.3	-0.9	-1.2	-0.1	
	8	-	-0.3	* -0.1	0.8	* -0.5	P-4.0	1.7	0.6	-0.9	-1.0	0.0	
	9	-	0.2	* -0.1	P1.4	* P-1.9	-	0.0	1.6	-0.6	-0.6	P-0.1	

注) P:速報値 * :前月比
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所の主要行事日程(2010年11月~12月)

時 期	行 事 等 の 概 要	時 期	行 事 等 の 概 要
11月1日	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程<基礎>」(11月通信研修)開講(～22日)	3日	小売物価統計調査(自動車ガソリン:平成22年11月分)公表
5日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成22年9月分, 7～9月分速報)公表	6日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成22年10月分速報)公表
8日	小売物価統計調査(自動車ガソリン:平成22年10月分)公表	13日	統計研修 専科「PCを用いた統計入門」開講(～17日)
〃	統計研修 特別講座「行政評価のための統計的手法」開講(～11日)	14日	家計調査(家計消費指数:平成22年10月分)公表
12日	家計調査(家計収支編:平成22年7～9月期平均速報)公表	〃	家計消費状況調査(支出関連項目:平成22年10月分確報)公表
〃	家計調査(家計消費指数:平成22年9月分, 7～9月期)公表	17日	総合統計データ月報(12月更新分)
〃	家計消費状況調査(ICT関連項目:平成22年7～9月分, 支出関連項目:平成22年9月分, 7～9月分確報)公表	〃	第41回統計委員会
〃	個人企業経済調査(動向編)平成22年7～9月期結果(速報)公表	20日	人口推計(平成22年7月1日現在確定値及び平成22年12月1日現在概算値)公表
16日	労働力調査(詳細集計)平成22年7～9月期平均(速報)公表	中旬	平成22年科学技術研究調査結果公表
〃	統計研修 特別講座「統計解析ソフトRで学ぶマイクロデータ利用入門」開講(～19日)	22日	「PSI月報(12月)」刊行
18日	総合統計データ月報(11月更新分)	24日	平成21年全国消費実態調査(二人以上の世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果)公表
19日	第40回統計委員会	27日	住民基本台帳人口移動報告(平成22年11月分)公表
22日	人口推計(平成22年6月1日現在確定値及び平成22年11月1日現在概算値)公表	〃	サービス産業動向調査(平成22年10月分速報,平成22年7月分確報)公表
24日	個人企業経済調査(動向編)平成22年7～9月期結果(確報)公表	28日	労働力調査(基本集計)平成22年11月分(速報)公表
〃	「PSI月報(11月)」刊行	〃	消費者物価指数(全国:平成22年11月分,東京都区部:平成22年12月分(中旬速報値),東京都区部:平成22年平均)公表
26日	消費者物価指数(全国:平成22年10月分,東京都区部:平成22年11月分(中旬速報値))公表	〃	家計調査(二人以上の世帯:平成22年11月分速報)公表
〃	小売物価統計調査平成22年10月分(東京都区部:平成22年11月分)公表	〃	小売物価統計調査平成22年11月分(東京都区部:平成22年12月分)公表
29日	住民基本台帳人口移動報告(平成22年10月分)公表	下旬	統計トビックス「卯(うさぎ)年生まれ」と「新成人」の人口
30日	労働力調査(基本集計)平成22年10月分(速報)公表	この記事を引用する場合には、下記にあらかじめ御連絡ください。	
〃	家計調査(二人以上の世帯:平成22年10月分速報)公表	<p style="text-align: center;">編集発行 総務省統計局</p> <p style="text-align: center;">〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1</p> <p style="text-align: center;">総務省統計局総務課広報担当</p> <p style="text-align: center;">TEL 03-5273-1120</p> <p style="text-align: center;">FAX 03-5273-1010</p> <p style="text-align: center;">E-mail g-kouhou@soumu.go.jp</p> <p style="text-align: center;">ホームページ http://www.stat.go.jp/</p> <p style="text-align: center;">御意見・御感想をお待ちしております。</p>	
〃	サービス産業動向調査(平成22年9月分速報,平成22年7～9月期速報,平成22年6月分確報,平成22年4～6月期確報)公表		
〃	「第60回日本統計年鑑」刊行		
12月1日	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程<応用>」(12月通信研修)開講(～21日)		